

令和3年度 自己評価・学校関係者評価書

学校法人富塚学園 湖東幼稚園長 山口 崇

学校関係者評価委員長 野中 晃子

1 幼稚園の教育目標

・やる気のある子 ・けじめのある子 ・思いやりのある子

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

・「自ら考える力」を育む ・思考力を育む身近な環境への関わり

3 評価項目の達成及び取組状況及び今後の課題への取り組み方法

（評価 A・・・良い B・・・やや良い C・・・成果なし D・・・悪い）

評価項目	結果	理由及び改善策	関係者 評価
教育課程・指導	B	遊びの中で「面白そう!」という興味、関心を捉え、子どもの気づきや発想を大切に環境構成を行うよう心掛けた。 特に身近な自然に子どもたちが五感を使って遊ぶ中で、好奇心や探求心が芽生えるよう、年間通じて「思考力の芽生え」の育成に取り組んだ。ただ、遊びを更に発展させるための環境設定が不十分なこともあり、今後はカリキュラムにゆとりを持たせ、行事等で子どもたちが関心を持った遊びを連続させ、主体的な学びが深められるよう取り組んでいく。	A
教職員の資質・連携	A	コロナ禍であるためオンライン研修を中心に資質向上に努めた。また保健衛生、学校安全、保育実践（環境、食育、言葉、健康）の各分野の職員リーダーが園内研修を運営し、また年間通じて計画された各分野のコーナー保育を全職員で連携して行った。日々の学年会ではその日の保育を振り返り、子どもの育ちを捉え、保育計画に反映させるよう努めた。	A
保護者との連携	B	コロナ禍において行事は密対策を取りつつ行ったが、保育参加の機会は少なくなってしまった。そのためおひさま通信やブログなどを通じて園の様子を伝えられるよう取り組んだ。 おひさま通信では保護者から家庭での会話や様子をお知らせ頂き、園と家庭で経験や学びの連続性を知ることができた。 日々のクラスの様子を伝えるドキュメンテーションは、写真を通じて今の育ちを伝えることを目的に導入したが、お伝え	A

		<p>する回数が少なく、また保育を行いながら写真を撮影することの難しさもあり、今後はドキュメンテーションを効率かつ計画的に行うよう検討していく。</p>	
保護者アンケート	A	<p>193 家庭（回収率 79%）から回答を頂き、多くの評価項目で A または B 評価を頂けた。また自由記述として</p> <p>「いつも温かな関わり、ありがとうございます。園生活が充実していることが、子どもの姿を通じてわかります」</p> <p>「子供のちょっとしたトラブルにも丁寧に対応して頂いて感謝しております」</p> <p>「子供も園で〇〇ちゃんとお友達になったよ！今日は新しい歌を歌ったよ！と楽しかったことを笑顔で話してくれます」</p> <p>など、園に対するコメントを頂くことができた。</p> <p>その他、「普段の子どもの生活をもっと分かるようにして欲しい」「ドキュメンテーションの回数を増やして欲しい」など、園での成長や様子をもっと伝えて欲しいというご要望や、園の衛生管理に対するご指摘も一部あり、保育環境の見直しや今後の課題として検討を行っていく。</p>	A

4 学校関係者評価委員会からのコメント

子どもたちの日頃の様子から、湖東幼稚園で楽しい時間を過ごしている事を感じておりました。コロナ禍で保護者が参加できる行事が減った事により、先生方との関わりや親同士の交わりが減り、幼稚園での様子がわからず不安もありましたが、時間に合わせた教育を目指し子どもたちに自ら考える力を養うとともに、先生方も自らの資質の向上に努められている事を知り、幼稚園により高い信頼感と安心感を持ちました。それと同時に事前に、この本年度の重点課題の内容を知る事ができたら、幼稚園の1年間の活動の意図が更に理解できたのではないかと思いました。

令和3年度 自己評価 教職員の振り返り

評価

<p>1 日々の保育の連続性を考慮し、体験が深まるよう、指導計画を作成していますか</p>	
<p>行事の後など体験が広がる活動を行ったが、カリキュラムを優先させることも多かった。子どもたちの学びや楽しさなどが広がる環境作りが必要だと思う 園生活の見通しを立て、連続性を考慮した指導計画を学年会で検討していく必要がある</p>	D
<p>2 子どもの気づきや発想を大切に環境を整えていますか</p>	
<p>活動を進めていく中で「こうしてみたい」「これを使ってみたい」というような子ども達の気づきや発想に合わせて活動が深まるよう環境を整えていった</p>	
<p>自由遊びの時、子どもたちが何に興味があるのかを見極め、環境を再度整えながら日々過ごすことができた</p>	B
<p>子どもの気づきを予測し、遊びや活動を深められる教材を用意し、子どもが主体的に活動に参加できるよう自由に教材に触れられる環境を作っている</p>	
<p>3 子どもが心を動かされ、次の活動が生み出される環境構成を心がけていますか</p>	
<p>子ども達がやりたいと思う活動があっても遊び込む時間が少なく、次に繋がることは少なかった</p>	
<p>決められた活動の中で遊ぶ事は出来るが、そこから子どもたちが遊びを生み出し発展させて行く事は難しく、環境設定が上手く出来ていなかった</p>	D
<p>その時の子どもたちの様子から興味、関心のあることを見つけ、活動を考えるようにしているが、教師が一方向的に活動させてしまっていることも多い</p>	
<p>4 子どもの体験を共有し、共感できる環境構成に努めていますか</p>	
<p>次の活動への動機付けとなるためにも驚いたり、不思議に思ったり、嬉しくなったり、何故だろう？など様々な心情を子ども達と共有し共感していった</p>	
<p>共同製作では自分のイメージや考えを友達に共有できるように発表する機会を多く作り、イメージを共有したり更なる発展に繋げることができた</p>	C
<p>子ども達の作品や気づきを紹介することで共有できるようにしていたが、イメージを共有できた喜びや考えの違いがあることにも気づける環境づくりや援助をしていきたい</p>	
<p>5 子どもの体験から学びを読み取り、その学びを更に深めたり、発展させたりできるよう、環境構成に配慮していますか</p>	
<p>様々な行事や活動もその場で終わってしまうことが多く、学びを深めたり発展させることが出来なかった。カリキュラムに余裕がなく時間を確保することが難しかった</p>	
<p>子どもの体験からどんなことを学んだのか付箋などに書き出し見える化したことで、読み取りやすくなった。しかし環境に配慮することや学びを発展させることが出来なかった</p>	E
<p>保育者が答えを決めて活動を進めていることが多く、活動が広がっていない。子どもの会話や遊びから子どもの発想を取り入れ準備し、柔軟な姿勢で対応していく</p>	

<p>6 幼児期に必要な基本的な動きを身に付けられるよう、遊びの中で多様な動きを経験できるようにしていますか</p>	
<p>同じ遊びでも動きを変えることで難易度が変わったり、楽しみ方が変わる様子が見られた。難しい動きは苦手意識を持たずに楽しく取り組めるよう簡単な動きから挑戦するようにした</p>	
<p>子ども達が自分で目標を決めて取り組んだり、多様な動きができるようサーキットを取り入れるなど工夫することが出来た</p>	B
<p>子どもたちの遊びの中でどのような動作が経験できていないのか考え、<u>経験の少ない動きを把握した上で多様な動きを意図した遊びを行っていきたい</u></p>	
<p>7 生活の中で言葉の響き、リズム、新しい言葉、表現などに触れ、「これらを使う楽しさ」を味わえるようにしていますか</p>	
<p>しりとり遊びや早口言葉など言葉の楽しさを知る絵本を読み聞かせを行ったが、その楽しさを上手く広げていく事が出来ず遊びへと繋げる事が出来なかった</p>	
<p>園内研修で紹介された絵本を読み聞かせたり、子どもが会話の中で面白いと感じた単語を繰り返し発言する様子を見て、保育者も一緒になって楽しむようにした</p>	D
<p>絵本や物語に親しみ、豊かな言葉に触れる機会を設けているが、一度きりだと関心を示すまでに至らないため、繰り返し同じものを取り入れていきたい</p>	
<p>8 園生活の中で、自然や身近な事象に関心が持つことができるように、環境を工夫し保育をしていますか</p>	
<p>五感を使って思い切り自然を親しんだり、様々な体験では好奇心や探究心も芽生えていた。子どもたちが夢中になった活動からは自然と言葉での伝え合いなど学びが深まっていた</p>	
<p>季節にあった遊びや知識を子どもに伝えていく事で、新たな発見をしたり感動したりと色々な体験を繰り返す事が出来ていた</p>	A
<p>季節の変化に目を向けたり、自然の面白さや生き物に興味を持てるような言葉掛けをしたり、図鑑や紙芝居、絵本を用いて学びが深まるようにしていった</p>	
<p>9 遊びや生活の中で、物の性質や仕組みなどを生かして、考えたり、工夫したりするなど、「多様な関わり」ができるよう心がけていますか</p>	
<p>物の性質や仕組みを理解する前に他の遊びへと変わってしまい、遊びを深めていく姿までは見られなかった。遊びの中の興味や関心に気づき、いつでも準備しておきたい</p>	
<p>外遊びや室内遊びの場に子どもたちが自由に使える身近な素材を準備し、様々な素材に触れながら工夫して遊べる環境を作るとよい</p>	E
<p>10 思いを伝え合ったり、試行錯誤したりしながら、一緒に活動を展開する楽しさや、共通の目的が実現する喜びを味わえる機会を設けていますか</p>	
<p>造形、製作活動では、自分たちで試してみたり意見を出し合ったりと共同製作を楽しみ、達成感を味わう姿が見られた</p>	
<p>(年長)自分の思いや考えを話し合うという機会を大切にしており、子どもの意見に対してなぜそう思ったのかなど、子ども達自身が考え発言できるようにしている</p>	C
<p>(満3)自分の気持ちや考えを自発的に伝えることがまだ難しい為、子どもの作品を紹介したり、みんなの前で自己紹介をしたりと少しずつ発言する機会を増やした</p>	

<p>11 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から、幼児が発達していく方向を意識して、それぞれの時期にふさわしい経験を積み重ねられるよう考慮していますか</p> <p>学年会でその週の反省や次週の活動のねらいを話し合う際に、どのような事が子どものどの成長に繋がり、何が育つのかということ意識して活動内容を考えるようになった</p> <p>年齢による幼児の発達理解の知識を深め、それぞれの学年に合った経験を積み重ねの大切さを「10の姿」で見極め、発達につながる保育を考えていきたい</p> <p>学年会で10の姿を考慮しながら活動を考えているが、今後は育った姿を共有し、次にどのような活動に繋がらよいかを学年で話し合っていきたい</p>	D
<p>12 他のクラスや異年齢の子どもたちと触れ合うようなさまざまな工夫をしていますか</p> <p>コロナで関わる機会も減ってきているが、園庭などの広い場所などを活用し他クラスの先生に声を掛け、触れ合う機会を作っていきたい</p> <p>感染症対策もあるが、昨年度よりも自由遊びの環境設定が充実していたこともあり、異年齢での関わりは増えたように思う</p> <p>異年齢で交流する機会を設け、子ども同士で環境に親しんだり学んだらできるよう努めているが、交流ができる時期とカリキュラムなどで時間が設けられない事もある</p>	E
<p>13 「先生のようにやってみたい」と子どもが思うような、モデルとしての姿を心がけていますか</p> <p>保育者として笑顔で子ども達に挨拶をし、「挨拶しようね」と言うだけではなく自分がお手本となり、子どもたちが自分から挨拶したいと思えるよう心掛けた</p> <p>いつ、どこでも常に子ども達や保護者から見られている意識を持ち合わせながら、周りから受ける印象も大切に、自らの行動を意識している</p> <p>保育者の姿勢や表情、行動が子ども達に反映されていくと思っているので、常に意識しながら行動を心掛けている</p>	B
<p>14 様々な食べ物への興味や関心を持つことで、食の大切さに気付いたり、食に対する態度を身に付けられるようにしていますか</p> <p>前日の帰りの会で、明日の給食を伝えるようにしたことから、「明日は何?」「食べたことある」「楽しみ」と、翌日の献立を楽しみにして登園する子が増えた</p> <p>農園で実際に自分たちで野菜を育てる事で、野菜を作る大変さや収穫する事の嬉しさを感じる事ができ、食べ物の大切さをより学ぶ事が出来ていた</p> <p>食べ物ビンゴなどゲーム感覚で楽しみながら興味を持てるようにしたり、食べ物の働き絵本なども活用し、関心が高まるようにすることが出来た</p>	A
<p>15 学年会では、子ども一人一人のよさや可能性、伸びつつあるものなど「子どもの姿」について話し合い、指導の改善に生かすようにしていますか</p> <p>他クラスの様子を知ることで学年としてどのような課題があるかが明確になり、職員同士の子どもの育ちで大切にしたいことも一致するようになっている</p> <p>子どもたちの育ちについて話し合いを行い、どのような事が不足していて、どのような活動が必要なのか考える事で、これから配慮すべき事が見えてきた</p> <p>マイナスな面を話し合うことが多く、個々にこのような育ちがあった、良い面が見られたなどが少ないように感じたため、増やすよう心がけたい</p>	B

<p>16 配慮の必要がある子を持つ保護者の思いを受け止めたり、相談に応じたりしていますか</p>	
<p>保護者の方に、家庭ではどうか、またどういった対応をしているかを聞き、その子にとっての保育がより良いものになるように関わりを続けている</p>	C
<p>保護者に一方的に伝えるのではなく、保護者の思いや話を聞く事で、どのように子どもに配慮していくか同じ方向性で関わる事が出来たと思う</p>	
<p>今後も安心して園に預けて頂ける様に、保護者とコミュニケーションを取る事、相談しやすい姿勢や聞く力を身につけられるようにしていきたい</p>	
<p>17 個々の子どもの様子は、必要に応じて直接または電話などを使って伝え合っていますか</p>	
<p>言葉の選び方一つで間違っ伝わったり、不信感になってしまうこともあるため、保護者の受け取り方を考えながら、コミュニケーションを大切にしよう意識している</p>	A
<p>怪我や心配な事、気になる事がある場合は、迎えの際や電話で話し、園での様子を伝えていた</p>	
<p>園にあまり来られない方や仕事が忙しい方など、お迎えに来られる家庭に比べて様子を伝えることが難しく、電話をしていいのか迷ってしまうことがある</p>	
<p>18 生活に必要な習慣が身につくよう、家庭との連携に努めていますか</p>	
<p>個人懇談以降は、日々の保育の中で感じた事や就学に向けて出来るようになって欲しい事など、成長過程や課題を共有していくことが難しい</p>	E
<p>園で保護者と会う機会が少ないことや、手紙や電話では伝わりにくい内容では連携が難しい</p>	
<p>19 ドキュメンテーションでは、遊びを通じた学びや子どもの興味・関心・成長を伝えるようにしていますか</p>	
<p>写真や動画を用いて今クラスで夢中になっている事や頑張っている事を保護者に伝える事が出来たが、活動を進めながら写真を撮ることが難しかった</p>	C
<p>ドキュメンテーションにより、子どもたちの発言や姿を保護者に伝えられるよう以前よりも意識して保育することが出来た</p>	
<p>同じ担任の先生と、子どもたちがどんなことに興味を示していたか、どのような育ちが見られたかを一緒に話し合いながらドキュメンテーションを作ることが出来た</p>	
<p>20 子どもの園の様子や成長の姿を「おひさま通信」で分かりやすく伝えようとしていますか</p>	
<p>おひさま通信では、以前より文章量が増えたこともあり、子どもたちの様子を一回のおひさま通信でより細かく書伝えることが出来るようになった</p>	A
<p>おひさま通信があることで、より一人ひとりの育ちに目を向けることができ、集団生活における子どもの成長を理解してもらいたいという思いで書くことができた</p>	
<p>その子一人ひとりが園でどのようなことに興味があるのか、園生活ならではの発言や行動などを書くことができるよう心掛けた</p>	